



謹賀新年



水川町議会議長
上田健一

新年明けまして、おめでとうございます。

皆さまには、ご家族お揃いで新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。議長に就任し1年が過ぎましたが、各種行事や会議などできるだけ出席させて頂きました。議員は、住民全体の代表者であり奉仕者であるという事を肝に銘じ、また、議員間のコミュニケーションを取り議会運営を行ってまいります。町民の皆さまのご理解とご支援をお願いいたします。

昨年は、自然災害が多い年でありました。2月は北陸で

効率的な行政運営をめざした組織機構改革



水川町長
藤本一臣

あけましておめでとうございます。

皆さまには、ご家族お揃いで希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より町政運営ならびに地区づくり活動に對しまして、温かいご理解とご協力を賜り心より厚くお礼を申し上げます。

昨年を振り返りますと、6月の大阪北部地震、7月の西日本豪雨、9月の北海道胆振東部地震および相次ぐ台風襲来など、日本各地で自然災害が発生し、尊い命と貴重な財産が奪われました。被災された皆さまに衷心よりお見舞いを申し上げます。一方、水川町においては、大雨や台風などによる自然災害が少なく、農作物なども例年にない豊作の年であったと感じています。

また、熊本地震から2年8ヶ月が過ぎ、被災した農業用施設や圃場の復旧が完了いたしましたものの、未だに応急仮設住宅およびみなし仮設住宅における避難生活を余儀なくされている皆さまがおりますので、今後とも支援を継続してまいります。

平成28年度から3年計画で進めてきた「地区別防災計画の策定」は、本年3月末までに全地区で完了し、「防災行政

と連携し、『安心して暮らせ、幸せを実感できる持続可能な田園都市・水川』を創造するため、私もその先導役を果たすべく、全身全霊を傾注し、誠心誠意努力してまいりる所存でございます。

これからも町議会をはじめ町民の皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、新しい年が皆さまにとりましても水川町にとりましても更に飛躍する最良の年でありましますよう心からご祈念申し上げます、年頭のご挨拶いたします。

新年のごあいさつ

無線のデジタル化」も屋外放送施設の整備が進み、平成31年度末までに全世帯の戸別受信機の更新を行うこととしており、昨年4月に供用を開始した鏡消防署水川分署との連携を図ることにより、町民の皆さまの安心安全の確保に向けた環境の整備が着実に進展しております。

さて、八代市の環境センターが本格稼働し、クリーンセンターにおいては、水川町のごみのみを処理しておりますが、将来的には八代市の環境センターにおいて、水川町を含めた広域処理することを目指しています。

そこで、今年を、『ごみ減量化元年』と位置づけ家庭ごみおよび事業系ごみを平成35年を目途に、現在の処理量から1割削減する取り組みを始めますので、皆さまのご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

準備を進めてきました小中学校へのエアコン設置につきまして、国の方針を受け、小中学校の整備時期を前倒しして、平成31年度に全ての小中学校へ設置することといたしました。

下水道宮原処理区の八代北部流域下水道への編入が決定し、今後県事業として整備してまいります。

竜北地区の湛水防除事業につきましては、計画より若干進捗が遅れておりますので、熊本県との連携により事業の加速化を図ります。

水川町誕生から14年目を迎えますが、社会経済状況の改革に対応すべく役場組織機構の見直しを進めています。課の統合、係の見直しを現在検討しており、今後、町議会の承認を得て、組織の簡素化および財政の健全化を図りながら、より効率的・効果的な町政運営を行い、町民の皆さまの豪雪、7月の豪雨災害、台風も接近や上陸がありました。8月から9月は猛暑が続き、異常気象ではないかと思えます。

また、6月には大阪北部地震、9月には北海道胆振東部地震がありました。熊本地震の復興も取り組んでおりますが、全体の復興には至っておりません。今後も全力で取り組んでまいります。町民の皆さまの安全・安心で暮らせる町を作るために、役場庁舎内には危機管理室も増築され、今後の防災行政無線デジタル化更新などが完了し、稼働すればさらに安全・安心な環境が整います。

平成31年度の課題として、宮原地区の下水道の八代北部流域下水道への加入にあたり、接続の工事をする必要があります。竜北地区では、水川排水機場の更新と導水路の更新事業が継続中であり早期の完成が必要です。

基幹産業であります農業においては、経営安定化のための集団営農組合の法人化、施設園芸の基盤強化を図り、また、JAやつしろが建設中のいちごのパッケージセンターが完成すると、農家の負担軽減に繋がります。

商工業においては活気のある町づくりを目指し、議員一同、全力で取り組んでまいります。議会としましても、地域社会における課題や変革を的確に捉え、対応実現に努力していくことが、責務であると思えます。本年も活力ある豊かな町づくりを目指し誠心誠意取り組んでまいりますので、皆さまのより一層のご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

新年が皆さまにとりまして光り輝く年でありましますようご祈念申し上げます、新年のごあいさつといたします。

新年のごあいさつ

無線のデジタル化」も屋外放送施設の整備が進み、平成31年度末までに全世帯の戸別受信機の更新を行うこととしており、昨年4月に供用を開始した鏡消防署水川分署との連携を図ることにより、町民の皆さまの安心安全の確保に向けた環境の整備が着実に進展しております。

さて、八代市の環境センターが本格稼働し、クリーンセンターにおいては、水川町のごみのみを処理しておりますが、将来的には八代市の環境センターにおいて、水川町を含めた広域処理することを目指しています。

そこで、今年を、『ごみ減量化元年』と位置づけ家庭ごみおよび事業系ごみを平成35年を目途に、現在の処理量から1割削減する取り組みを始めますので、皆さまのご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

準備を進めてきました小中学校へのエアコン設置につきまして、国の方針を受け、小中学校の整備時期を前倒しして、平成31年度に全ての小中学校へ設置することといたしました。

下水道宮原処理区の八代北部流域下水道への編入が決定し、今後県事業として整備してまいります。

竜北地区の湛水防除事業につきましては、計画より若干進捗が遅れておりますので、熊本県との連携により事業の加速化を図ります。

水川町誕生から14年目を迎えますが、社会経済状況の改革に対応すべく役場組織機構の見直しを進めています。課の統合、係の見直しを現在検討しており、今後、町議会の承認を得て、組織の簡素化および財政の健全化を図りながら、より効率的・効果的な町政運営を行い、町民の皆さまの豪雪、7月の豪雨災害、台風も接近や上陸がありました。8月から9月は猛暑が続き、異常気象ではないかと思えます。

また、6月には大阪北部地震、9月には北海道胆振東部地震がありました。熊本地震の復興も取り組んでおりますが、全体の復興には至っておりません。今後も全力で取り組んでまいります。町民の皆さまの安全・安心で暮らせる町を作るために、役場庁舎内には危機管理室も増築され、今後の防災行政無線デジタル化更新などが完了し、稼働すればさらに安全・安心な環境が整います。

平成31年度の課題として、宮原地区の下水道の八代北部流域下水道への加入にあたり、接続の工事をする必要があります。竜北地区では、水川排水機場の更新と導水路の更新事業が継続中であり早期の完成が必要です。

基幹産業であります農業においては、経営安定化のため